

第 5 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 17 年 9 月 22 日 (木) 10 : 10 ~ 13 : 30

場 所 西宮市大学交流センター 講義室 2

出席者 (委員) 松本 (誠)、奥西、川谷、畑、長峯、岡田、加藤、佐々木、中川
浅見、武田、伊藤、岡、土谷
(河川管理者) 田中、渡邊、松本、前川、合田
(農林水産部) 福田、鶴崎、今里、渡邊、芦田、糟谷
(事務局) 黒田、前田、木本

内 容 (協議結果)

1 流域対策の検討

- (1) 加藤委員から森林の治水機能について以下の提言があった。
森林の洪水緩和機能は森林土壌に負うところ大きく、土壌帯の水の流れなどを検証するためのシミュレーションが必要である。
森林の土砂流出防止や土砂崩壊防止の機能を考慮し、人工林における間伐を計画的に実施するための計画を策定すること。
総合治水を推進するため、河川管理者による「武庫川流域総合治水会議」を設置すること。
- (2) 奥西委員から、森林の理水機能について第 116 回日本森林学会本年本年 (3 月) の表面流出と土壌に関する研究成果、比良山地での流出特性調査、吉野川における「緑のダム」の機能 について説明があり、意見交換した。
- (3) 伊藤委員から、ため池の治水利用、利水ダムの治水活用、武庫川流域における遊水地の候補 - についての提案があった。
- (4) 次の 3 点については、次回会議で再度協議する。
ため池を洪水時の一時貯留施設として改造することが、構造上可能なのかどうか。先行事例はあるのかどうか。
利水ダムの水利権。河川管理者との関係。
流域対策の各提案について、どこまで議論するのか。

2 次回会議での協議事項

上記 (4) のほか、本日協議ができなかった次の事項を協議する。
総合治水対策検討の条件設定 (対策の評価方法)
(河川管理者の説明を踏まえ、協議する)
今後の進め方

3 森林の保水機能（緑のダム等）に関する勉強会

中川委員から提案があり、下記で調整することとした。

開催日：10月中旬

講師：京都大学教授 寶 馨氏、東京大学講師 蔵治 光一郎氏

4 次回の日程

10月5日（水）17：30から開催する。